（試験者提示用）レベル1・2・4

症例1　右大腿骨頸部骨折

問題

医療面接にて疼痛を確認後に術側および非術側の整形テスト（トーマステスト・エリーテスト）を実施しなさい．

その後に歩行動作練習を実施しなさい．

（試験時間：15分）

OSCE　評価表

学籍番号：　　　　　　　　　氏名：　　　　　　　　　　　　　　　　評価日：　　年　　　月　　　日

評価者：

症例1　右大腿骨頸部骨折

問題

医療面接にて疼痛を確認後に術側および非術側の整形テスト（トーマステスト・エリーテスト）を実施しなさい．

その後に歩行動作練習を実施しなさい．

|  |
| --- |
| レベル1：① 医療⾯接 |
|  | 2.全てできた　1.一部できた　0.できなかった |  |
| ⾯接手順 | 2 | 1 | 0 | 合計 |
| 1 | 挨拶、患者の確認と⾃⼰紹介 | 　 | 　 | 　 | 点満点：10点 |
| 2 | ⾯接の説明とその同意 | 　 | 　 | 　 |
| 3 | 傾聴と話の促進（言語・非言語）　アイコンタクト（質問、傾聴） | 　 | 　 | 　 |
| 4 | 話し方（1）：言葉遣い（言語）わかりやすい言葉、敬意を表す | 　 | 　 | 　 |
| 5 | 話し方（2）：非言語、声の大きさ、スピード、音調、抑揚 | 　 | 　 | 　 |
| ⾯接内容　1-5：家屋状況および階段等の障害 | 2 | 1 | 0 | 合計 |
| 1 | 現在の症状 | 　 | 　 | 　 | 点満点：10点 |
| 2 | 疼痛の部位といつから | 　 | 　 | 　 |
| 3 | 疼痛の症状（安静時・動作時）と程度 | 　 | 　 | 　 |
| 4 | 家屋状況（平屋・2階建、部屋数） | 　 | 　 | 　 |
| 5 | 家屋での動作状況（トイレへの動線・食事場所・洗濯動作・場所など） | 　 | 　 | 　 |
|  |  |  |  |  |  |
| レベル2：② 理学療法評価項目の測定 |
|  | 2.全てできた　1.一部できた　0.できなかった |  |
| 測定手順 | 2 | 1 | 0 | 合計 |
| 1 | 評価項目を測定する旨を説明して、測定する同意を得る。 | 　 | 　 | 　 | 点満点：10点 |
| 2 | 術部の状態および全身の疼痛について確認をする。 | 　 | 　 | 　 |
| 3 | 評価項目に応じて測定肢位を設定する。 | 　 | 　 | 　 |
| 4 | 術部に配慮して他動的に動かすことができる。 | 　 | 　 | 　 |
| 5 | 測定時に患者に的確な指示ができる。 | 　 | 　 | 　 |
| 測定内容　2-5：整形テスト | 2 | 1 | 0 | 合計 |
| 1 | 試験項目の関節可動域を確認することができる。 | 　 | 　 | 　 | 点満点：10点 |
| 2 | 試験項目の正しい関節の位置に設定することができる。 | 　 | 　 | 　 |
| 3 | 方法に従い動作や抵抗をかけることができる。 | 　 | 　 | 　 |
| 4 | 検査手順より患者の反応を読み取ることができる。 | 　 | 　 | 　 |
| 5 | 患者に測定値を伝えることができる。 | 　 | 　 | 　 |

|  |
| --- |
| レベル4：④ 理学療法の実施 |
|  | 2.全てできた　1.一部できた　0.できなかった |  |
| 理学療法手順 | 2 | 1 | 0 | 合計 |
| 1 | 理学療法項目を実施する旨を説明して、同意を得る。 | 　 | 　 | 　 | 点満点：10点 |
| 2 | 理学療法項目の動作時の状態および疼痛について確認をする。 | 　 | 　 | 　 |
| 3 | 理学療法項目に応じて実施肢位を設定する。 | 　 | 　 | 　 |
| 4 | 術部・リスクに配慮して理学療法項目を実施することができる。 | 　 | 　 | 　 |
| 5 | 理学療法時に患者に的確な指示ができる。 | 　 | 　 | 　 |
| 理学療法内容　4-5：歩行動作練習（平行棒内、歩行補助具） | 2 | 1 | 0 | 合計 |
| 1 | 歩行動作練習に適した環境設定（平行棒内、歩行補助具を含む）することができる。 | 　 | 　 | 　 | 点満点：10点 |
| 2 | 事前に課題動作に必要な可動域を確認し、課題動作を実施しやすい状態にする。 | 　 | 　 | 　 |
| 3 | 適切な姿勢で課題動作ができることを確認することができる。 | 　 | 　 | 　 |
| 4 | 症例に適した歩行距離を設定し、設定した課題動作をすることができる。 | 　 | 　 | 　 |
| 5 | 課題動作時に疼痛を確認し、動作時の変化を確認することができる。 | 　 | 　 | 　 |

総合評価：合格 ・ 不合格

コメント